

「令和4年度農福連携支援研修」について

1 研修のねらい

農福連携とは、障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組であり、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もある取組として、全国的な広がりを見せています。

本県における農福連携の取組を広げるため、農福連携に関心のある福祉関係者向けに、農業経営の基礎知識や作物栽培の技術、障害を持った方に農作業を教える方法などを学んでいただくことをねらいとした「農福連携支援研修」を開講します。

2 研修内容

(1) 研修期間

令和4年6月15日（水）から令和5年1月20日（金）まで（27日間）

(2) 研修会場

愛知県立農業大学校（岡崎市美合町字並松1-2）

(3) 対象者

農福連携に関心のある福祉関係者（障害者就労施設の職員等）であればどなたでも受講いただけます。

(4) 受講定員

15名

(5) 研修内容

農業経営の基礎知識や作物栽培の技術などを、初めて農業を学ぶ方にも分かりやすく教えます（カリキュラムの詳細は別添ちらしの裏面参照）。

農業大学校の農場にて実際に野菜等を栽培しながら学べる実践的な研修です。

〔研修時間〕

農場実習：午前9時から正午まで（途中適宜休憩）

農業講義：午後1時から午後4時10分（途中適宜休憩）

〔農場実習の進め方〕

- ・実習は受講者7～8名で班をつくり、班ごとに共同で行います。
- ・実習は班ごとに異なる作業を行い、作業内容を途中で交代しながら進めます。
- ・栽培品目は、露地野菜（ナス・キュウリ・ピーマン・ウリ等の夏野菜、キャベツ・ブロッコリー・ハクサイ・ダイコン等の秋冬野菜）を計画しています。

- ・栽培方法は慣行栽培とし、有機農法など特殊な栽培方法については実習しません。
- ・原則として、実習に使用する道具、資材等は農業大学校で準備します。

[農業講義について]

- ・原則として午後、県立農業大学校中央教育棟2階の第1、2研修室で行ないます。欠席者には講義資料を後日配布します。

[その他]

- ・実習及び講義とは別に、農福連携に取り組んでいる先進農家等を訪問して行う視察研修を年1回実施します。
- ・研修内容は新型コロナウイルス感染症の状況等により変更することがあります。
- ・研修参加時はマスクの着用や朝の検温など、感染症対策へ御協力をお願いします。

3 参加費用等

- (1) 参加無料。教材費等の費用はかかりません。
- (2) 昼食は各自で用意してください。なお、視察研修の際に昼食代を徴取することがあります。

4 申込み方法

別添の受講生募集ちらしの裏面にある研修申込書に必要事項を記入の上、FAX、E-mailにより申し込んでください。

参加者は先着順で決定します。また、申し込まれた方全員に、参加の可否について県から連絡します。

参加者募集ちらしは愛知県農業経営課 Web ページから入手できます。

[愛知県農業経営課公式 Web ページ]

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2022noufukukensyu.html>

[申込先]

愛知県立農業大学校企画研修部就農企画科

FAX : 0564-51-4831 E-mail:noudai@pref.aichi.lg.jp

5 申込み期限

2022年6月9日(木)